

## 都立六本木高等学校

【校長】 小宮 徳健  
【生徒数】 720名  
【学級数】 33学級



### 【実態・目標】

- 小学校・中学校で不登校だった生徒が多く、他者とのコミュニケーションの取り方や方法を正しく理解していない場面がみられる。
- 特に恋愛の場面では、相手を尊重することができず、自己中心的な行動や言動をとり、指導の対象となるような行動をとってしまうことがある。
- ⇒ 相手を尊重する考えや態度・行動をとれるようになる。人生について真剣に考え、家族計画についても理解を深める。

#### 目標

・自らの健康への意識を高め、生涯健康を保持増進できる資質能力の育成

### 【課題・改善】

- 単年度で計画するのではなく、この活動を継続的に続け、より生徒たちの理解が深まるように取り組んでいきたい。
- 保健の授業以外でも取り組みを拡げていく。
- ⇒ 【今後の取組】
- 今後、教科等横断的に学校全体で健康教育の充実を図っていく。

### 【取組】

- 保健における性教育  
⇒ 授業を通して、生徒が性に関する正しい知識を身に付け、家族計画について理解し、望まない妊娠を避ける。
- 教員の指導力を向上させるために外部研修会に参加  
⇒ 「性教育指導セミナー全国大会」「全国性教育研究大会」に参加した。
- 産婦人科医を招へいした公開授業の実施  
⇒ 全生徒対象の公開授業を実施した。

### 【成果】

- 生徒の意識に関する成果  
⇒ 授業後のアンケートでは、概ね理解が深まったとの感想だった。
- 生徒の態度に関する成果  
⇒ 今年度については指導の対象となるような出来事は起こっていない。
- その他（教員の授業改善など）  
⇒ 産婦人科医の話を聞ける機会があり、非常に参考になった。

## 【取組（詳細）】

### ○ 保健における性教育

2年次以上が履修する保健の授業では、重点単元に性教育（妊娠・出産、避妊・人工妊娠中絶、結婚）を挙げている。

また、“交際相手に、性交に誘われた時にどうするか？”という内容で応じる場合や断る場合を想定し、ロールプレイングを含むグループワークを行った。



保健の授業風景

### ○ 教員の指導力を向上させるため外部研修会に参加



第45回日本産婦人科医会性教育指導セミナー 全国大会

第51回全国性教育研究大会

“多様性に寄り添う性教育”“様々な性の課題を賢明に乗り越え、豊かに生きていくための性教育”をテーマとし、産婦人科医や泌尿器科医、精神科医等の専門家、LGBTQ当事者の講演など、様々な視点から性教育を捉える研修会に参加した。

### ○ 産婦人科医を招へいした公開授業の実施

『正しい知識を身に付け、デートDVや望まない妊娠を防ぐ』を研究主題に、産婦人科医を招へいし、全生徒対象の公開授業を実施した。事前の打ち合わせで本校の要望や在籍する生徒の実態について詳しく説明し、本校に即した内容の公開授業となった。

生徒からのアンケートには、勉強になったとのコメントが多くあり、公開授業後には相談に来る生徒も見られた。



公開授業の様子